

2012年2月7日

2012年3月期第3四半期決算の概要

東レ株式会社



目次

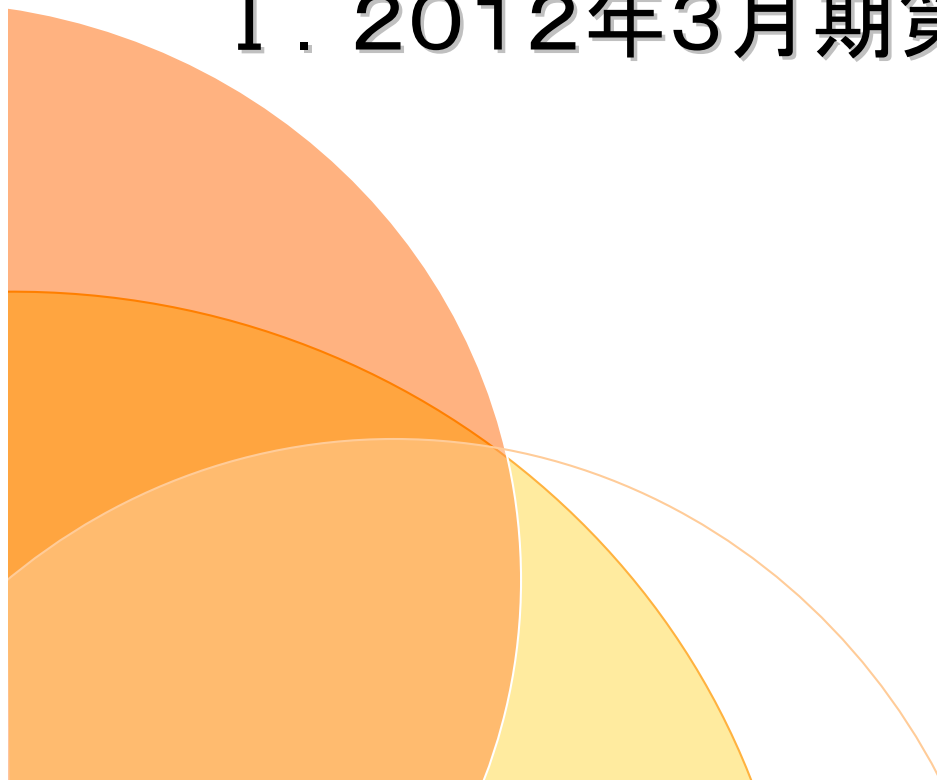
I . 2012年3月期第3四半期決算の概要

2012年3月期第3四半期連結損益概要	(P3)
営業外収支	(P4)
特別損益	(P5)
資産・負債・純資産	(P6)
設備投資額・減価償却費・研究開発費	(P7)
セグメント別売上高・営業利益	(P8)
セグメント別業績	(P9-16)
営業利益増減要因分析(第3四半期累計期間)	(P17)
主要子会社収益状況(第3四半期累計期間)	(P18)
セグメント別営業利益 2Qvs3Q比較	(P19)

II . 2012年3月期連結業績見通し

2012年3月期連結業績見通し	(P21)
セグメント別業績見通し	(P22)
セグメント別営業利益の前回見通しとの差異	(P23)

I . 2012年3月期第3四半期決算の概要



2012年3月期第3四半期連結損益概要

億円

	11年3月期 第3四半期 (10~12月)	12年3月期 第3四半期 (10~12月)	増減	11年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	12年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減
売上高	3,935	3,999	+65 (+1.6%)	11,268	11,997	+729 (+6.5%)
売上原価	3,145	3,195	+50 (+1.6%)	9,014	9,475	+461 (+5.1%)
売上総利益	790	804	+14 (+1.8%)	2,255	2,522	+268 (+11.9%)
(売上高総利益率)	20.1%	20.1%	+0.0 ポイント	20.0%	21.0%	+1.0 ポイント
販売費及び 一般管理費	515	546	+31 (+6.0%)	1,555	1,630	+75 (+4.8%)
(売上高販管費比率)	13.1%	13.7%	+0.6 ポイント	13.8%	13.6%	-0.2 ポイント
営業利益	274	258	-17 (-6.1%)	700	892	+192 (+27.5%)
(売上高営業利益率)	7.0%	6.4%	-0.5 ポイント	6.2%	7.4%	+1.2 ポイント
営業外収支	8	3	-5	▲ 13	24	+37
経常利益	282	261	-21 (-7.6%)	687	916	+229 (+33.4%)
特別損益	▲ 12	▲ 26	-14	▲ 58	▲ 57	+1
税前利益	270	235	-35 (-13.1%)	629	859	+230 (+36.5%)
四半期純利益	189	139	-50 (-26.4%)	438	540	+102 (+23.3%)

	(11/3 3Q)	→	(12/3 3Q)	(11/3 3Q累計)	→	(12/3 3Q累計)
為替レート <円/US\$> 期中平均	82.6	→	77.4	86.8	→	79.0
期末	81.5	→	77.7			
<円/ユーロ> 期中平均	112.2	→	104.3	113.3	→	110.6
期末	107.9	→	100.7			
原油価格 <US\$/バレル> (DUBAI FOB) 期中平均	84.3	→	106.5	78.8	→	108.1

(注) 3月期決算会社は10~12月の業績、12月期決算会社は7~9月の業績を連結

営業外収支

億円

	11年3月期 第3四半期 (10~12月)	12年3月期 第3四半期 (10~12月)	増減	11年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	12年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減
営業外収益	36	30	-6	113	107	-6
受取利息及び配当金	10	12	+2	24	29	+5
持分法による投資利益	16	7	-9	57	43	-14
雑収入	11	12	+1	32	35	+3
営業外費用	▲ 29	▲ 28	+1	▲ 126	▲ 83	+43
支払利息	▲ 15	▲ 14	+1	▲ 50	▲ 42	+7
雑損失	▲ 13	▲ 14	-0	▲ 76	▲ 41	+36
営業外収支	8	3	-5	▲ 13	24	+37
金融収支	▲ 5	▲ 2	+3	▲ 26	▲ 14	+12

注) 収益はプラス、費用はマイナス(▲)で表示

特別損益

億円

	11年3月期 第3四半期 (10~12月)	12年3月期 第3四半期 (10~12月)	増減	11年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	12年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減
特別利益	6	4	-3	22	5	-17
有形固定資産売却益	2	3	+1	6	4	-2
投資有価証券売却益	1	0	-1	17	0	-16
投資有価証券評価損戻入益	3	-	-3	-	-	-
その他	-	0	+0	-	0	+0
特別損失	▲ 19	▲ 30	-11	▲ 80	▲ 62	+18
有形固定資産処分損	▲ 15	▲ 13	+3	▲ 32	▲ 27	+6
投資有価証券評価損	-	▲ 4	-4	▲ 27	▲ 16	+11
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	-	-	▲ 14	-	+14
その他	▲ 3	▲ 14	-11	▲ 6	▲ 19	-13
ネット特別損益	▲ 12	▲ 26	-14	▲ 58	▲ 57	+1

注) 収益はプラス、費用はマイナス(▲)で表示

資産・負債・純資産

億円

	11年3月末	11年12月末	増減
資産合計	15,675	15,548	-126
流動資産	7,241	7,365	+124
有形固定資産	5,316	5,188	-128
無形固定資産	93	103	+10
投資その他	3,025	2,892	-133

	11年3月末	11年12月末	増減
負債合計	9,265	9,066	-199
流動負債	5,030	4,889	-140
固定負債	4,235	4,177	-58
純資産合計	6,410	6,482	+72
有利子負債残高	4,935	4,921	-15
D/Eレシオ	0.83	0.82	-0.01

設備投資額・減価償却費・研究開発費

億円

	11年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	12年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減	特記事項
設備投資額	325	493	+168	東レ:177、国内:93、海外:222
減価償却費 ー)	518	496	-22	東レ:250、国内:65、海外:181
振替・除却等	▲ 253	▲ 125	+128	
有形固定資産増減	▲ 447	▲ 128	+319	
研究開発費	344	373	+30	

主な設備投資:

<東レ> 炭素繊維設備

<海外> TAK (Toray Advanced Materials Korea Inc.)
:光学用ポリエステル(PET)フィルム設備(韓国)

セグメント別売上高・営業利益

億円

	売上高			営業利益		
	11年3月期 第3四半期 (10~12月)	12年3月期 第3四半期 (10~12月)	増減	11年3月期 第3四半期 (10~12月)	12年3月期 第3四半期 (10~12月)	増減
繊維	1,683	1,852	+169 (+10.1%)	120	155	+35 (+29.5%)
プラスチック・ケミカル	939	936	-3 (-0.3%)	77	59	-18 (-23.6%)
情報通信材料・機器	604	538	-66 (-11.0%)	96	53	-43 (-44.9%)
炭素繊維複合材料	177	170	-7 (-3.7%)	7	26	+19 (+255.4%)
環境・エンジニアリング	363	328	-35 (-9.6%)	▲ 7	▲ 3	+4 (-)
ライフサイエンス	138	145	+7 (+5.1%)	20	10	-10 (-50.1%)
その他	32	31	-1 (-3.0%)	3	3	-0 (-8.2%)
計	3,935	3,999	+65 (+1.6%)	316	303	-13 (-4.2%)
調整額				▲ 41	▲ 45	-3
連結	3,935	3,999	+65 (+1.6%)	274	258	-17 (-6.1%)

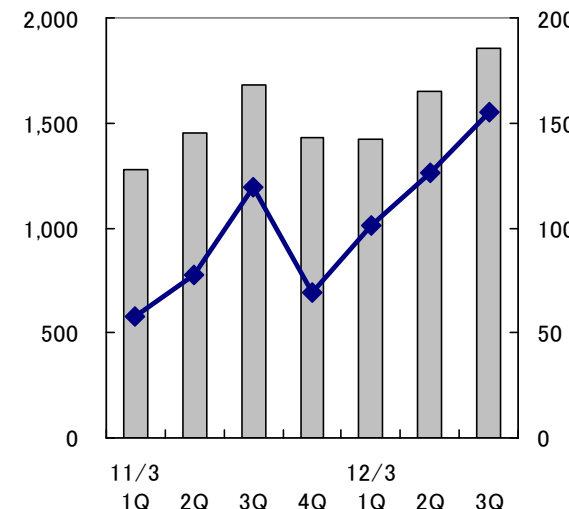
	売上高			営業利益		
	11年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	12年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減	11年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	12年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減
繊維	4,413	4,927	+514 (+11.6%)	255	382	+127 (+49.9%)
プラスチック・ケミカル	2,805	3,001	+196 (+7.0%)	198	223	+25 (+12.8%)
情報通信材料・機器	1,966	1,838	-127 (-6.5%)	309	250	-59 (-19.0%)
炭素繊維複合材料	495	533	+38 (+7.7%)	20	76	+57 (+287.1%)
環境・エンジニアリング	1,097	1,180	+83 (+7.6%)	▲ 22	39	+62 (-)
ライフサイエンス	393	420	+27 (+6.9%)	53	52	-1 (-1.7%)
その他	99	97	-2 (-1.9%)	7	7	+0 (+5.4%)
計	11,268	11,997	+729 (+6.5%)	819	1,031	+212 (+25.8%)
調整額				▲ 120	▲ 139	-19
連結	11,268	11,997	+729 (+6.5%)	700	892	+192 (+27.5%)

セグメント別業績(繊維)

売上高
単位: 億円 <棒グラフ>

営業利益
<線グラフ>
(億円)

		3Q(10~12月)			3Q累計(4~12月)		
		11年 3月期	12年 3月期	増減	11年 3月期	12年 3月期	増減
売上高	東レ	255	248	-7 (-2.6%)	757	781	+24 (+3.1%)
	国内	947	1,072	+125 (+13.2%)	2,293	2,576	+283 (+12.3%)
	海外	481	532	+51 (+10.6%)	1,363	1,570	+207 (+15.2%)
	計	1,683	1,852	+169 (+10.1%)	4,413	4,927	+514 (+11.6%)
営業利益	東レ	26	29	+3 (+10.6%)	74	95	+21 (+28.8%)
	国内	31	44	+13 (+42.0%)	59	94	+35 (+58.6%)
	海外	54	70	+16 (+28.9%)	123	200	+77 (+62.7%)
	修正	8	12	+4	▲ 1	▲ 7	-6
	計	120	155	+35 (+29.5%)	255	382	+127 (+49.9%)



3Q(10~12月)

増収増益

東レ : 国内では、衣料用途は機能性インナーウェア用途などが堅調に推移。産業用途では自動車メーカーの稼働回復に伴って自動車関連用途向けの販売が復調するとともに、その他産業資材用途も堅調に推移。

国内子会社 : 商事子会社は、衣料・産業用途ともに堅調に推移。

海外子会社 : 中国の縫製品事業が堅調に推移するとともに、タイやチェコのエアバッグ用基布事業やイタリアの人工皮革事業のカーシート向け等自動車関連用途等が堅調。

3Q累計 (4~12月)

増収増益

国内では、衣料用途は機能性インナーウェア用途などが堅調に推移するとともに、産業用途では自動車メーカーの稼働回復に伴って自動車関連用途向けの販売が復調。海外では、アセアンのポリエステル長繊維・短繊維事業、中国やアセアンの衣料用織物事業、韓国や中国の紙おむつ向けポリプロピレン不織布事業、タイやチェコのエアバッグ用基布事業等の各事業が、拡販や高付加価値品へのシフトを進めた結果、衣料用途・産業用途とも総じて堅調に推移。

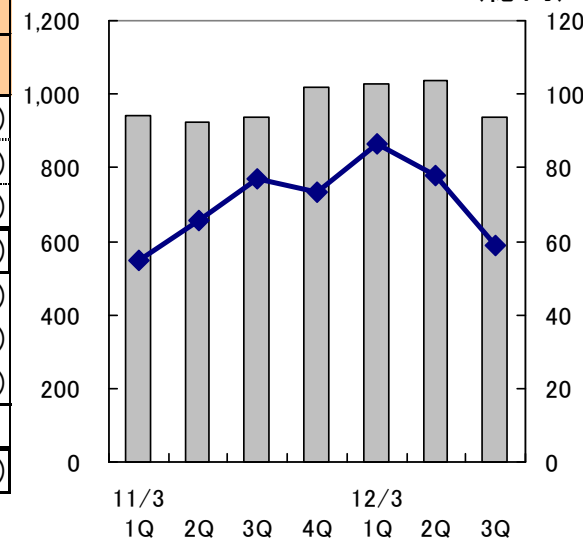
セグメント別業績(プラスチック・ケミカル)

単位: 億円

		3Q(10~12月)				3Q累計(4~12月)			
		11年 3月期	12年 3月期	増減		11年 3月期	12年 3月期	増減	
売上高	東レ	181	208	+27	(+14.8%)	535	599	+65	(+12.1%)
	国内	343	332	-12	(-3.4%)	1,023	1,075	+51	(+5.0%)
	海外	415	397	-18	(-4.4%)	1,247	1,327	+80	(+6.4%)
	計	939	936	-3	(-0.3%)	2,805	3,001	+196	(+7.0%)
営業利益	東レ	11	12	+1	(+7.9%)	36	34	-2	(-5.9%)
	国内	19	18	-1	(-5.3%)	59	72	+13	(+21.2%)
	海外	46	28	-19	(-40.1%)	102	115	+13	(+12.2%)
	修正	0	1	+1		▲ 0	2	+2	
	計	77	59	-18	(-23.6%)	198	223	+25	(+12.8%)

売上高
〈棒グラフ〉

営業利益
〈線グラフ〉
(億円)



3Q(10~12月) 売上横這い減益

東レ : 樹脂事業は、震災からの復旧に伴い、自動車関連用途への販売量が2Q以降回復。フィルム事業では、太陽電池バックシート用途がユーザーの在庫調整の影響を受けた。

国内子会社 : 香料子会社が円高や世界的な景気減速の影響を受けた。

海外子会社 : マレーシアの樹脂子会社は中国市場の低迷の影響を受け、販売量が減少。フィルム事業では、世界的な景気減速等の影響で需要が減退するとともに価格競争が激化。

3Q累計 (4~12月)

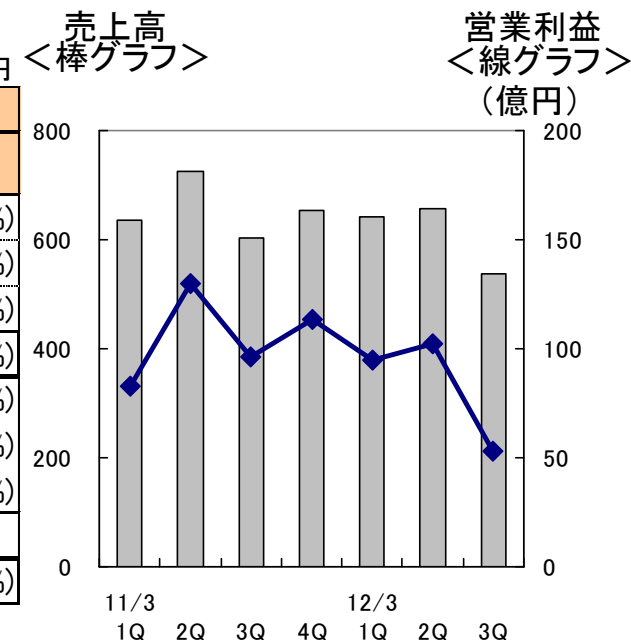
増収増益

樹脂事業は、国内を中心に東日本大震災の影響を受け減少した自動車関連用途への販売量が2Q以降は回復したが、海外では、汎用ABS樹脂が世界的な景気減速を背景に需要が低迷。フィルム事業は、2Qまでは、国内では工業材料用途、包装材料用途とも総じて堅調に推移し、海外でも米国や欧州、アジアでの拡販を進めたが、3Qに入ると、内外ともに世界的な景気減速等の影響で需要が減退するとともに価格競争が激化。

セグメント別業績(情報通信材料・機器)

単位: 億円

		3Q(10~12月)				3Q累計(4~12月)			
		11年 3月期	12年 3月期	増減		11年 3月期	12年 3月期	増減	
売上高	東レ	254	218	-36	(-14.1%)	823	769	-54	(-6.5%)
	国内	162	144	-18	(-11.0%)	567	519	-48	(-8.5%)
	海外	189	176	-13	(-6.8%)	576	551	-25	(-4.4%)
	計	604	538	-66	(-11.0%)	1,966	1,838	-127	(-6.5%)
営業利益	東レ	56	27	-29	(-52.3%)	190	158	-32	(-17.1%)
	国内	7	5	-2	(-24.7%)	35	25	-10	(-28.4%)
	海外	33	21	-12	(-36.5%)	83	68	-15	(-17.6%)
	修正	0	0	-0		1	▲ 0	-2	
	計	96	53	-43	(-44.9%)	309	250	-59	(-19.0%)



3Q(10~12月)

減収減益

- 東レ** : スマートフォン用等の中・小型ディスプレイ関連部材の出荷は堅調に推移し、半導体関連材料も数量を伸ばした。一方、FPD関連製品は全般的にパネルの生産調整の影響を受けた。
- 国内子会社** : フィルム加工子会社やファインケミカル子会社では、FPD関連材料の販売が減少。
- 海外子会社** : 韓国では、フィルム及びフィルム加工品関連子会社並びに回路材料関連子会社が液晶パネルメーカーの生産調整の影響を受けた。

3Q累計 (4~12月)

減収減益

スマートフォン用等の中・小型ディスプレイ関連部材や半導体関連材料が堅調に推移したが、薄型テレビ市場の低迷によるパネル生産調整の影響等から、フィルム及びフィルム加工品をはじめ液晶及びPDPテレビ関連製品は低調に推移。

情報通信材料・機器セグメントの売上高の詳細

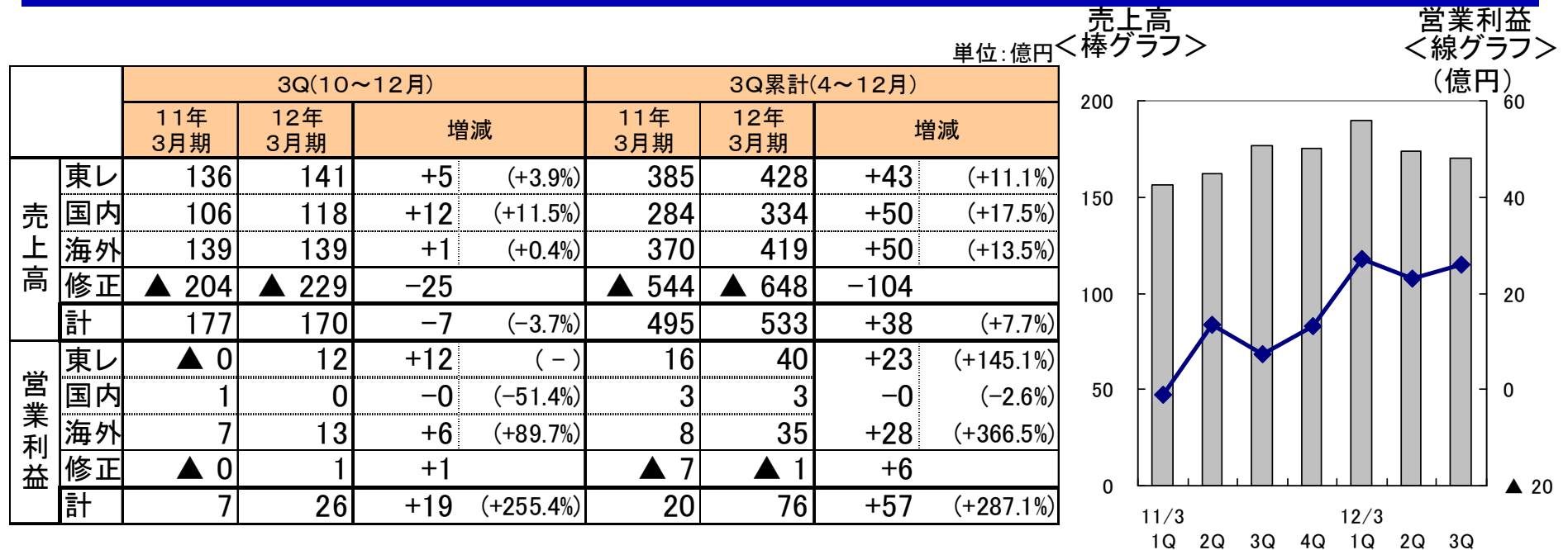
【サブセグメント別売上高推移】

単位: 億円

	1 1 / 3 期第 3 四半期 (10~12月)		1 2 / 3 期第 3 四半期 (10~12月)		
	売上高	比率	売上高	比率	増減率
ディスプレイ材料	231	38%	195	36%	-16%
電子部品・半導体・回路材料	233	39%	203	38%	-13%
記録材料	84	14%	87	16%	+3%
機器他	55	9%	53	10%	-4%
情報通信材料・機器セグメント合計	604		538		-11%

	1 1 / 3 期第 3 四半期累計 (4~12月)		1 2 / 3 期第 3 四半期累計 (4~12月)		
	売上高	比率	売上高	比率	増減率
ディスプレイ材料	796	40%	699	38%	-12%
電子部品・半導体・回路材料	721	37%	662	36%	-8%
記録材料	250	13%	252	14%	+1%
機器他	199	10%	224	12%	+13%
情報通信材料・機器セグメント合計	1,966		1,838		-6%

セグメント別業績(炭素繊維複合材料)



本セグメントでは、日米欧3拠点のグローバルオペレーションの規模が大きく、実態を正しく表すために、内部売上高の消去を外枠で記載しています。

3Q(10~12月) 減収増益

円高の影響はあるものの、航空宇宙用途や一般産業用途は堅調に推移。一方、スポーツ用途は、ユーザーの在庫調整の影響を受け、需要は弱含みで推移。

3Q累計(4~12月) 増収増益

円高の影響はあるものの、航空機需要の拡大、圧縮天然ガスタンク等環境・エネルギー関連需要の拡大が進む中で、航空宇宙用途、一般産業用途への拡販を推進。また、上期には、スポーツ用途、一般産業用途の汎用品を中心に、販売価格の値戻しを実施。一方、スポーツ用途については、秋口以降欧米の景気低迷の影響を受け、需要は弱含みで推移。

炭素繊維複合材料セグメントの売上高の詳細

【サブセグメント別売上高推移】

単位：億円

	1 1 / 3 期第 3 四半期 (10~12月)		1 2 / 3 期第 3 四半期 (10~12月)		
	売上高	比率	売上高	比率	増減率
航空宇宙	76	43%	70	41%	-8%
スポーツ	39	22%	29	17%	-25%
一般産業	62	35%	71	42%	+15%
炭素繊維計	177		170		-4%

	1 1 / 3 期第 3 四半期累計 (4~12月)		1 2 / 3 期第 3 四半期累計 (4~12月)		
	売上高	比率	売上高	比率	増減率
航空宇宙	201	41%	201	38%	+0%
スポーツ	106	21%	102	19%	-4%
一般産業	188	38%	230	43%	+22%
炭素繊維計	495		533		+8%

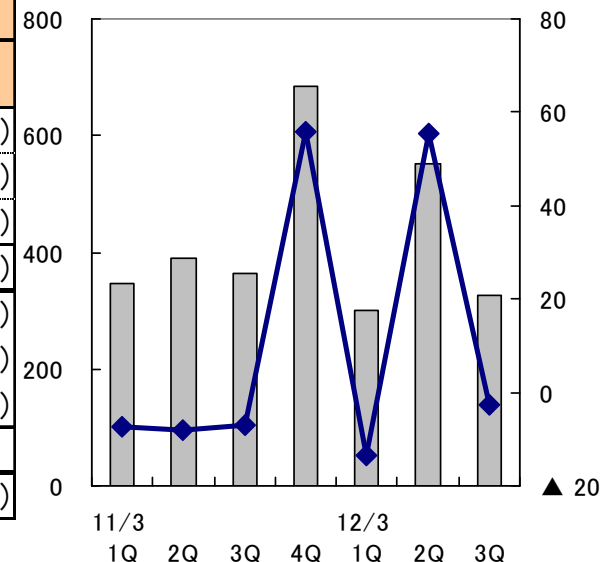
セグメント別業績(環境・エンジニアリング)

売上高
＜棒グラフ＞

営業利益
＜線グラフ＞
(億円)

単位: 億円

		3Q(10~12月)			3Q累計(4~12月)		
		11年 3月期	12年 3月期	増減	11年 3月期	12年 3月期	増減
売上高	東レ	18	16	-2 (-10.1%)	73	48	-25 (-34.0%)
	国内	336	300	-36 (-10.8%)	995	1,096	+100 (+10.1%)
	海外	9	12	+3 (+36.8%)	28	36	+8 (+28.0%)
	計	363	328	-35 (-9.6%)	1,097	1,180	+83 (+7.6%)
営業損益	東レ	▲7	▲5	+2 (-)	▲24	▲22	+2 (-)
	国内	1	3	+3 (+478.2%)	2	44	+42 (-)
	海外	▲1	▲1	-1 (-)	▲1	▲3	-2 (-)
	修正	0	1	+1	1	21	+20
	計	▲7	▲3	+4 (-)	▲22	39	+62 (-)



3Q(10~12月) 減収増益

東レ : 水処理膜事業は、前年同期にあった大型案件の出荷がなく、円高の影響もあり、減収。

国内子会社 : 商事子会社の機械事業が円高の影響を受けたが、エンジニアリング子会社のプラント工事が堅調に推移。

海外子会社 : 中国子会社が、逆浸透膜の販売量を伸ばした。

3Q累計 (4~12月)

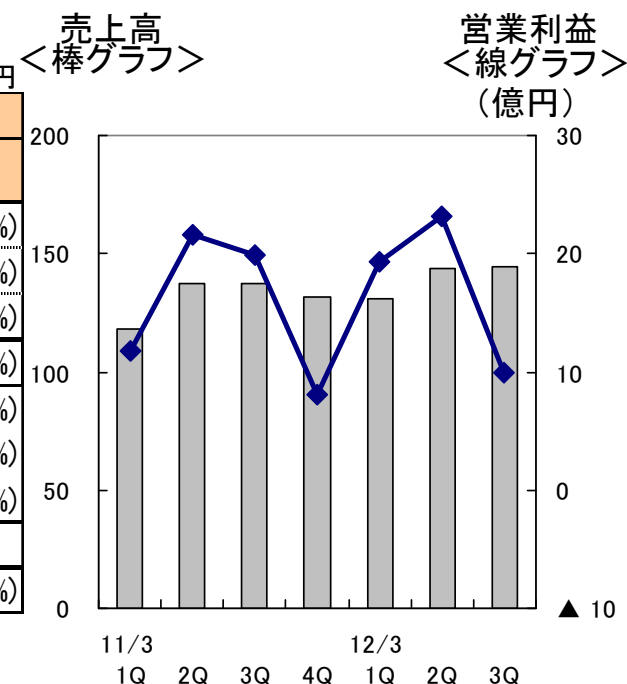
増収増益

水処理膜事業においては、前年同期にあった大型案件の出荷がなかったことに加え、円高の影響もあり減収も、逆浸透膜をはじめ各種水処理膜の受注活動を世界各地で推進。国内子会社では、水処理エンジニアリング子会社の大型案件が進捗し、建設・不動産子会社の販売も拡大。

セグメント別業績(ライフサイエンス)

単位: 億円

		3Q(10~12月)				3Q累計(4~12月)			
		11年 3月期	12年 3月期	増減		11年 3月期	12年 3月期	増減	
売上高	東レ	43	44	+2	(+4.0%)	109	131	+22	(+19.8%)
	国内	93	96	+4	(+3.9%)	275	277	+2	(+0.6%)
	海外	2	4	+2	(+79.1%)	8	12	+4	(+44.5%)
	計	138	145	+7	(+5.1%)	393	420	+27	(+6.9%)
営業利益	東レ	20	6	-14	(-70.7%)	45	41	-5	(-10.1%)
	国内	1	4	+3	(+239.2%)	7	11	+4	(+54.5%)
	海外	0	▲0	-0	(-)	1	0	-0	(-41.5%)
	修正	▲1	▲0	+1		0	0	-0	
	計	20	10	-10	(-50.1%)	53	52	-1	(-1.7%)



3Q(10~12月) 増収減益

血液透析患者における経口そう痒症改善剤“レミッチ®”*、およびポリスルホン膜人工腎臓“トレライト®”等の出荷が堅調に推移するも、開発費負担の増加もあり減益。

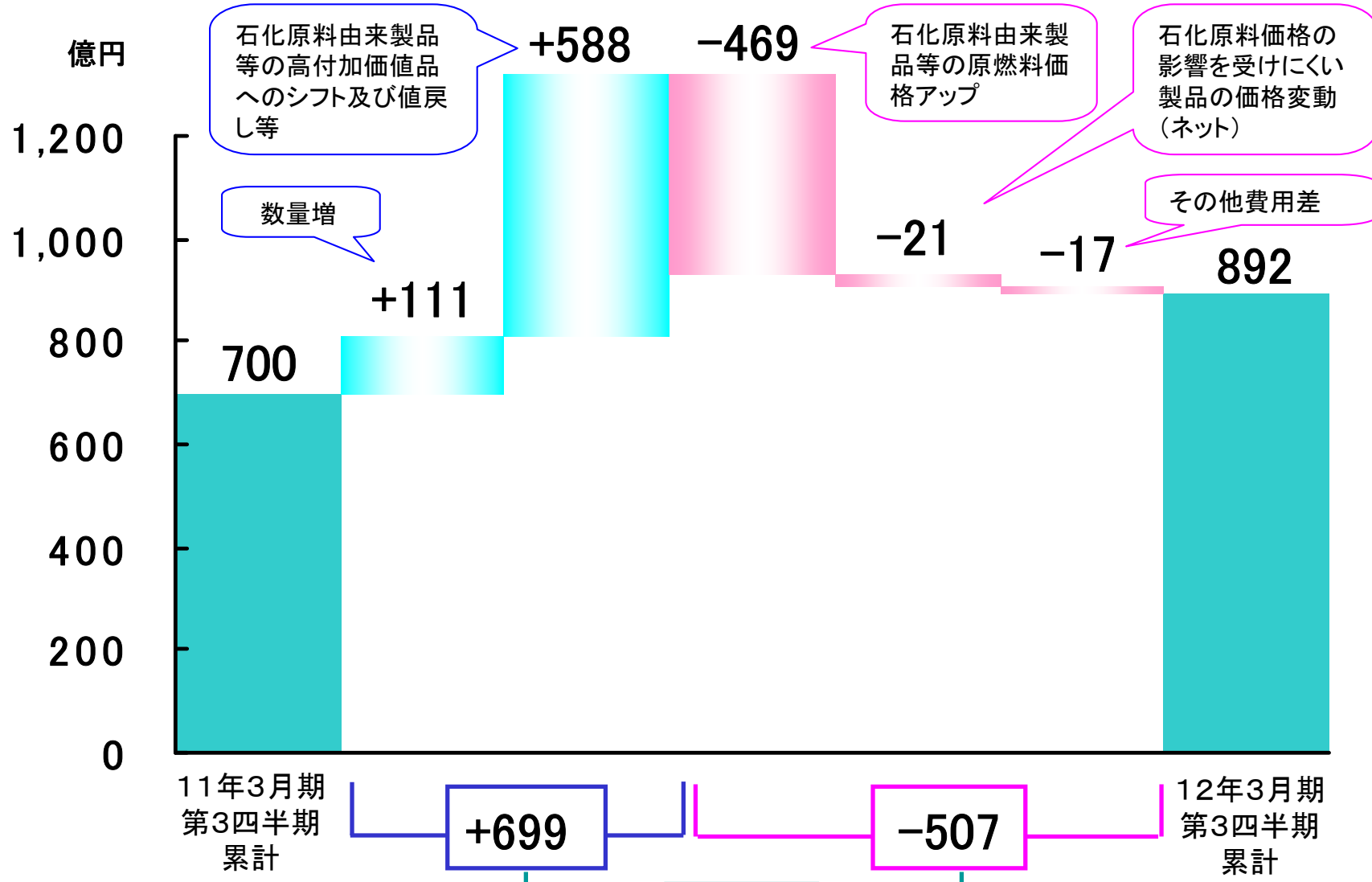
3Q累計 (4~12月)

増収減益

血液透析患者向けの経口そう痒症改善剤“レミッチ®”*等の医薬品の拡販に加え、エンドキシン除去向け吸着型血液浄化用浄化器“トレミキシン®”およびポリスルホン膜人工腎臓“トレライト®”等の販売が拡大するも、開発費負担の増加もあり減益。

* “レミッチ®”は鳥居薬品株式会社の登録商標です。

営業利益増減要因分析(第3四半期累計期間)



石化原料由来製品等とは、繊維、プラスチック・ケミカル、炭素繊維複合材料セグメントの合計値。

主要子会社収益状況(第3四半期累計期間)

億円

	売上高			営業利益			
	11年3月期 第3四半期累計 実績(4~12月)	12年3月期 第3四半期累計 実績(4~12月)	増減	11年3月期 第3四半期累計 実績(4~12月)	12年3月期 第3四半期累計 実績(4~12月)	増減	
東レインターナショナル	3,268	3,728	+460	55	78	+22	
東レエンジニアリング	501	573	+72	9	18	+9	
東レ建設	199	399	+200	▲10	26	+36	
東レフィルム加工	400	354	-46	30	24	-6	
東レ・メディカル	277	279	+2	7	11	+4	
TAK(韓国)	654	712	+58	114	119	+5	
TPM(マレーシア)	485	442	-42	23	3	-21	
在東南アジア・子会社 *1	繊維	673	764	+91	27	64	+38
	プラスチック・ケミカル	565	535	-29	45	28	-17
	その他	55	49	-6	3	3	-0
	計	1,292	1,348	+55	75	96	+21
在中国・子会社 *2	繊維	803	978	+175	55	85	+30
	プラスチック・ケミカル	353	406	+53	9	7	-3
	その他	85	78	-6	2	▲1	-2
	計	1,241	1,462	+221	66	91	+25
在外・フィルム子会社 *3	プラスチック・ケミカル	572	650	+78	60	97	+37
	情報通信材料・機器	358	376	+18	71	68	-3
	計	930	1,026	+96	131	165	+34

* 1:ITS、ETX、ISTEM、ACTEM、CENTEX、TPJ、PFR、PAB-G、TTS、LTX、TTTM、TPM 単純合計

* 2:TFNL、TSD、TJQ、TPN、TCH、TICH、THK-G、TPCH-G、RKH/RKZ、TFH/TFZ、TBMC、TMQ 単純合計

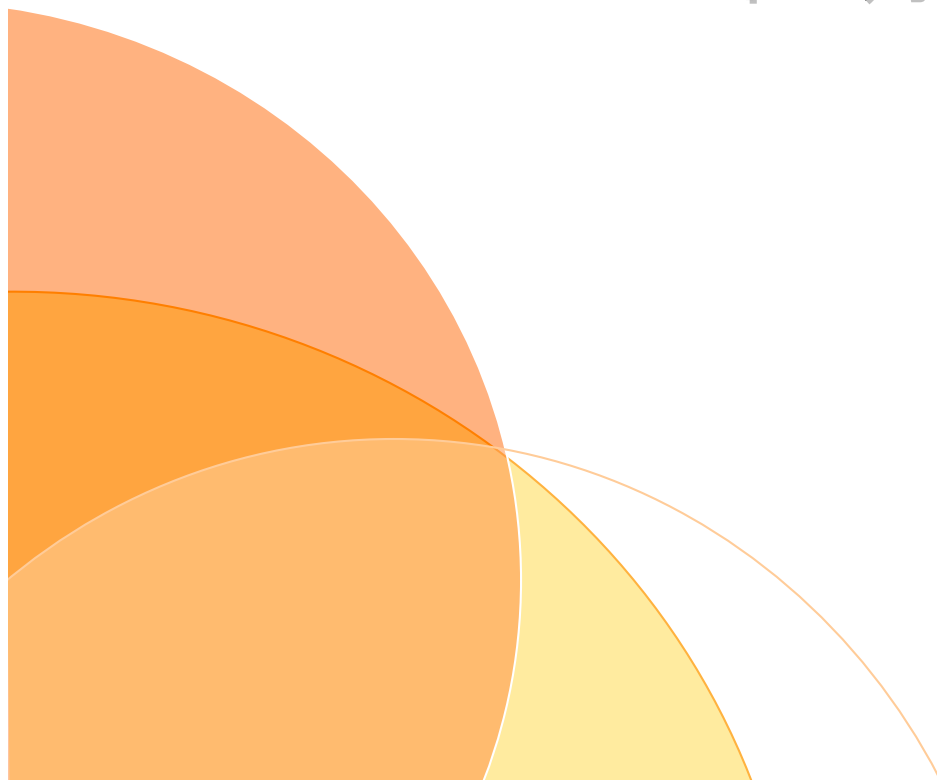
* 3:TAK、PFR、TPA、TFE、TFH/TFZ、TAFK 単純合計

セグメント別営業利益 2Qvs3Q比較

億円

セグメント	営業利益 12年3月期2Q→ 12年3月期3Q ()内差異	増減益要因
繊維	126 → 155 (+29)	・秋冬物機能性インナーウェア等縫製品の出荷増。
プラスチック ・ケミカル	78 → 59 (-19)	・樹脂は、自動車向けエンブラの需要は震災の影響からの回復継続。 海外では、汎用ABS樹脂をはじめとして中国市場を中心に需要低迷が継続。 ・フィルムは、内外ともに世界的な景気減速局面等の影響で需要が減退するとともに価格競争が激化。
情報通信材料 ・機器	103 → 53 (-50)	・FPDメーカーが一段の生産調整を実施した影響で、フィルム、回路材料等関連材料の需要が減少。
炭素繊維 複合材料	23 → 26 (+3)	・航空機用途、産業用途は堅調に推移。 ・スポーツ用途は、欧米景気低迷により最終製品の需要が弱含みで推移。
環境・エンジニアリング	56 → ▲3 (-58)	・建設・不動産子会社の売上が2Qに集中し、3Qは完工物件が少なかった。
ライフサイエンス	23 → 10 (-13)	・医薬品の開発費の増加。
その他	4 → 3 (-1)	
調整額	▲50 → ▲45 (+5)	
連結	362 → 258 (-104)	

Ⅱ. 2012年3月期連結業績見通し



2012年3月期連結業績見通し

億円

		11年3月期 実績	12年3月期 今回見通し	対前年同期比 増減	前回見通し	前回見通し との差異
売上高	上期	7,334	7,998	+664 (+9.1%)	7,998	—
	下期(逆算)	8,063	8,102	+39 (+0.5%)	8,702	-600
	通期	15,397	16,100	+703 (+4.6%)	16,700	-600
営業利益	上期	425	634	+209 (+49.1%)	634	—
	下期(逆算)	576	466	-110 (-19.1%)	566	-100
	通期	1,001	1,100	+99 (+9.9%)	1,200	-100
経常利益	上期	405	655	+250 (+61.9%)	655	—
	下期(逆算)	584	445	-139 (-23.8%)	545	-100
	通期	989	1,100	+111 (+11.2%)	1,200	-100
当期純利益	上期	249	401	+152 (+60.9%)	401	—
	下期(逆算)	330	229	-101 (-30.6%)	339	-110
	通期	579	630	+51 (+8.8%)	740	-110

1株当たり 当期純利益	上期	16.0円	24.6円
	下期	20.3円	14.1円
	通期	36.4円	38.7円
1株当たり 配当金	上期	2.5円	5.0円
	下期	5.0円	5.0円
	通期	7.5円	10.0円

備考：為替レート的前提は、77円/US\$ (1月以降)
原油価格見通しは、110US\$/B
(DUBAI FOB) (1月以降)

セグメント別業績見通し (売上高/営業利益)

億円

	11年3月期			12年3月期			対前年同期比増減			前回見通しとの差異	
	上期実績	下期実績	通期実績	上期実績	下期(逆算)	通期見通し	上期実績	下期(逆算)	通期見通し		
売上高	繊維	2,731	3,111	5,841	3,075	3,325	6,400	+344	+215	+559	—
	プラスチック・ケミカル	1,865	1,958	3,823	2,065	1,935	4,000	+199	-22	+177	-300
	情報通信材料・機器	1,362	1,259	2,620	1,300	1,200	2,500	-61	-59	-120	-100
	炭素繊維複合材料	319	351	670	363	337	700	+45	-15	+30	-100
	環境・エンジニアリング	735	1,047	1,782	853	947	1,800	+118	-100	+18	-100
	ライフサイエンス	255	269	524	275	275	550	+20	+6	+26	—
	その他	68	69	136	67	83	150	-1	+15	+14	—
	連結	7,334	8,063	15,397	7,998	8,102	16,100	+664	+39	+703	-600
営業利益	繊維	136	189	324	227	223	450	+92	+34	+126	—
	プラスチック・ケミカル	121	150	271	164	116	280	+43	-35	+9	-30
	情報通信材料・機器	213	209	422	197	153	350	-16	-57	-72	-30
	炭素繊維複合材料	12	20	33	50	40	90	+38	+19	+57	-10
	環境・エンジニアリング	▲ 15	49	33	42	8	50	+57	-41	+17	-30
	ライフサイエンス	33	28	61	42	18	60	+9	-10	-1	—
	その他	4	6	10	5	5	10	+1	-1	-0	—
	調整額	▲ 78	▲ 77	▲ 155	▲ 94	▲ 96	▲ 190	-16	-19	-35	—
連結	425	576	1,001	634	466	1,100	+209	-110	+99	-100	

セグメント別営業利益の前回見通しとの差異

億円

セグメント	通期営業利益 前回見通し→ 今回見通し ()内差異	要因
繊維	450→450 (-)	・前回見通し通り。
プラスチック ・ケミカル	310→280 (-30)	・マレーシア樹脂子会社及び中国樹脂コンパウンド会社が、主要市場である中国において、先進国向け最終製品輸出の低迷や、内需停滞の不振の影響を受ける見通し。
情報通信材料 ・機器	380→350 (-30)	・4Qに見込んでいたFPDパネル生産の回復が遅れ、関連材料の出荷が減少する見通し。
炭素繊維 複合材料	100→90 (-10)	・スポーツ用途を中心としたアジアでの需要低迷を受け、売上が減少する見通し。また、在庫の適正化を目的として、稼働調整を実施することにより、コストアップの見通し。
環境・エンジニアリング	80→50 (-30)	・水処理膜事業は、下期に売上を見込んでいた一部案件が遅れる見通し。 ・エンジニアリング子会社は、産業用機械の売上が当初見込みに届かない見通し。
ライフサイエンス	60→60 (-)	・前回見通し通り。
その他	10→10 (-)	・前回見通し通り。
調整額	▲190→▲190 (-)	
連結	1,200→1,100 (-100)	

本資料中の2012年3月期の業績見通し及び事業計画についての記述は、現時点における将来の経済環境予想等の仮定に基づいています。

本資料において当社の将来の業績を保証するものではありません。